

さぬき水田営農だより

「刈取り1週間で食卓へ」企画 キャンペーン好評!



「鮮度が命」、「刈取り1週間で食卓へ」のキャッチフレーズで、このほど京阪神地域でコシヒカリの新米キャンペーンを実施し、消費者から「美味しい」、「稲藁のかほりが残っている」など好評をいただきました。

この企画は、「さぬき米夢クラブ※」会員店を対象にしたもので、綾歌南部カントリーエレベーターで荷受けされたコシヒカリ約30トンを2日間の受取日指定による予約販売形式で販売しました。

生産者が圃場で刈取りして最短日数で食卓へ届けようとする企画で、ちょっぴり遊び心を加え「産地と消費者の心のふれあい」を目的に、予約注文書のアドレスからJA香川県のホームページや携帯電話サイトへのアクセスにより、刈取りまでの稲の生育状況や綾川町境界の歳時的な行事など、都度のエリア情報も発信しました。

なお、10月には、川津町ライスセンターのヒノヒカリで「刈取り1週間で食卓へ」企画を予定しています。今年で3年目を迎え、待っていてくださる消費者もたくさんいて、消費地での県産ブランドの定着に繋がっています。

※「さぬき米夢クラブ」：京阪神地域の讃岐米取扱加盟米穀店11社で平成15年に結成

さぬき米 夢クラブ 特別企画 **19年産 コシヒカリ**

讃岐米コシヒカリ 新米キャンペーン予約注文書

ご好評につき19年産もやりますっ!

「鮮度が命!」

綾歌郡綾川町の
田んぼから1週間で食卓へ!
1年に1度の限られた
期間しか味わえない
特別企画です。

稲刈り・乾燥機
カンパニエレベーター搬入・乾燥
6~4日前

稲刈り・乾燥機
3日前

検査・出荷
2日前

精米工場搬入・精米
1日前

お客様の自宅・店舗に
到着

指定お渡し日 8月31日(金)・9月7日(金)の2日 (お申し込み受付は8月28日まで)

※お渡しするお米は「主基番」から収穫されたものではありません

キャンペーン内容

JA香川県と京阪神地域の米販店がつくる「さぬき米夢クラブ」が「田んぼから1週間で食卓へ」をキャッチコピーに、野米産地に引けつぎ今年産米でも収穫量を特定した米を予約明で販売します。

●「田んぼから1週間で食卓へ!」とは、収穫してから乾燥、もみすり、袋詰め、検査・出荷、精米を経てお客様のもとに届くまで、農機工場で5層~7層かけ、収穫から乾燥(約1週間)でお米をお届けすることで、より鮮度の良い状態でお米を食べていただける企画です。

お申込方法

販売店にて、下記の注文書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。

個人情報の取扱いについて
ご記入いただいた個人情報は当団体の業務に必要とする範囲で利用させていただきます。また、本団体の業務に必要とする範囲で、関係機関等に提供させていただきます。詳細は当団体のプライバシーポリシーをご覧ください。

●ご予約されたお米の状況を、携帯サイトおよびパソコンサイトからJA香川県ホームページへアクセスしてご確認ください。

パソコンサイト: JA香川県ホームページ
URL <http://www.kw-ja.or.jp/sinmai/>

天候不測の懸念で農機が変更となる場合がございます。その場合には、JA香川県ホームページまたは携帯サイトでご確認ください。

刈取りの現状を見ることができず、今すぐアクセス!

「綾川町コシヒカリ「鮮度が命」刈取り1週間で食卓へ!」注文書

さぬき米 夢クラブ 特別企画 **19年産 ヒノヒカリ**

讃岐米ヒノヒカリ 新米キャンペーン予約注文書

ご好評につき19年産もやりますっ!

「鮮度が命!」

川津町内の田んぼから1週間で食卓へ!
1年に1度の限られた期間しか味わえない特別企画です。

田んぼから
一週間で
食卓へ!

稲刈り・乾燥機
3日前

検査・出荷
2日前

精米工場搬入・精米
1日前

お客様の自宅・店舗に
到着

指定お渡し日 10月10日(水)・12日(金)・17日(水)・19日(金)の4日 (お申し込み受付は10月7日まで)

キャンペーン内容

●JA香川県と京阪神地域の米販店がつくる「さぬき米夢クラブ」が「田んぼから1週間で食卓へ」をキャッチコピーに、昨年産米に引けつぎ今年産米でも収穫量を特定した米を予約明で販売します。

●「田んぼから1週間で食卓へ!」とは、収穫してから乾燥、もみすり、袋詰め、検査・出荷、精米を経てお客様のもとに届くまで、農機工場で5層~7層かけ、収穫から乾燥(約1週間)でお米をお届けすることで、より鮮度の良い状態でお米を食べていただける企画です。

●販売店にて、下記の注文書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。

個人情報の取扱いについて
ご記入いただいた個人情報は当団体の業務に必要とする範囲で利用させていただきます。また、本団体の業務に必要とする範囲で、関係機関等に提供させていただきます。詳細は当団体のプライバシーポリシーをご覧ください。

●ご予約されたお米の状況を、携帯サイトおよびパソコンサイトからJA香川県ホームページへアクセスしてご確認ください。

パソコンサイト: JA香川県ホームページ
URL <http://www.kw-ja.or.jp/sinmai/>

天候不測の懸念で農機が変更となる場合がございます。その場合には、JA香川県ホームページまたは携帯サイトでご確認ください。

刈取りの現状を見ることができず、今すぐアクセス!

「川津町コシヒカリ「鮮度が命」刈取り1週間で食卓へ!」注文書

香川県産麦は、平成20年産も高値で契約されています

9月に平成20年産麦の入札が行われました。

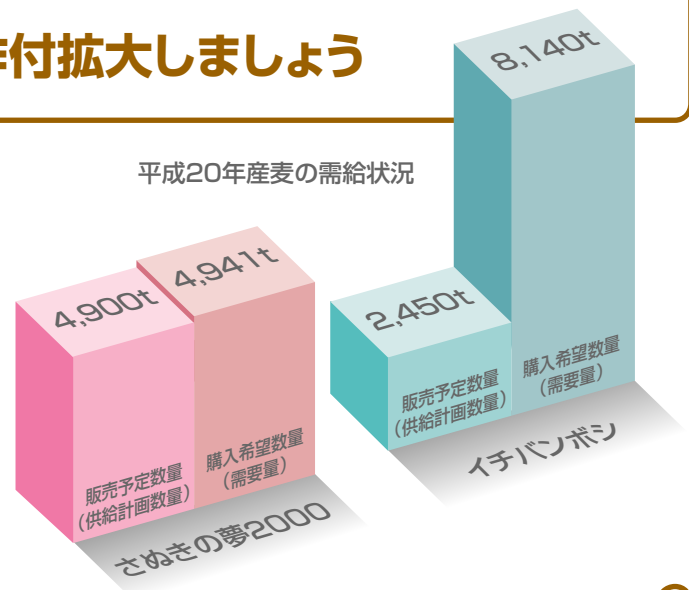
「さぬきの夢2000」は値幅制限の上限に迫る3,174円/60kgで、「イチバンボシ」は上限価格の2,555円/60kgで落札されました（農家手取り価格には、これに品目横断的経営安定対策の交付金などが上乗せされます。）。

香川県産の「さぬきの夢2000」は日本めん用小麦として、「イチバンボシ」は主食用等はだか麦として、**いずれの麦も日本一の高値が続いています。**

「イチバンボシ」を中心に作付拡大しましょう

20年産麦の現在の需給バランスについては、「さぬきの夢2000」については需要と供給のバランスがほぼ取れているのに対し、「イチバンボシ」については、大幅な供給不足となっています。

高値で購入希望がある今こそ、11月の播種に向け、「イチバンボシ」を中心に、作付拡大を計画しましょう。



麦の作付面積を拡大する際は、 まず過去の生産実績を確保してから！

品目横断的経営安定対策のもとでは、基準期間（平成16～18年産）の麦出荷量を基に「過去の生産実績」が決められています。まずは、保有している過去の生産実績相当の面積に麦を作付けしましょう。また、拡大する際には、過去の生産実績が移動できる農地から確保するのがいいでしょう。

JA支援の特定農業団体や農業生産法人で、団体や法人の中に過去の生産実績に余裕がある場合は、構成員なら誰でも麦作を始めたり拡大することができます。詳しくは役員、JA担当者にご相談ください。



過去の生産実績のない農地で麦の作付拡大をする場合には、

「担い手経営革新促進事業」の活用が必要です。

次頁では、どのような農地で20年産麦を作付拡大すれば

この事業の対象となるのか、

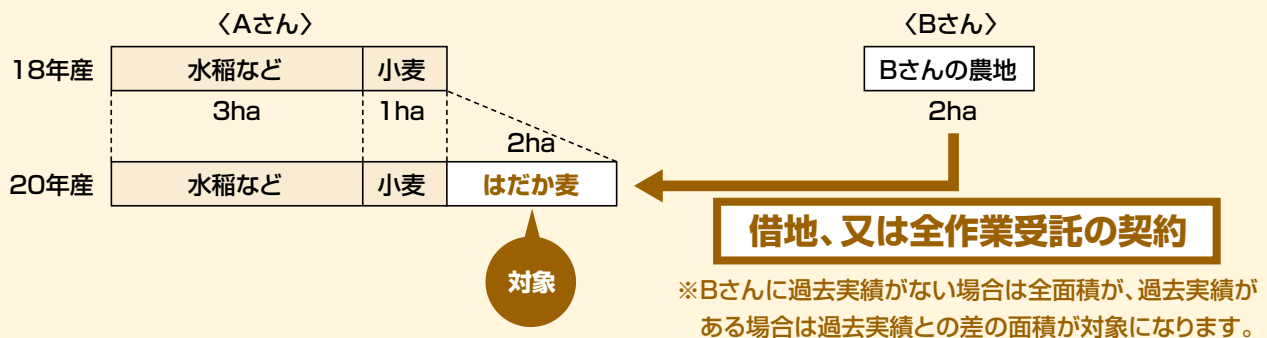
今からでも取り組める2つの事例を分かりやすく紹介します。

担い手経営革新促進事業の主な要件

- ① (麦のみでみた場合) 18年産麦作付面積と比べて20年産麦作付面積が拡大していること
- ② 品質の上位区分(1等麦)の占める比率がJA等の出荷単位の概ね平均以上であること
(カントリーへ搬入した場合は、この要件は満たしていると判断されます。)
- ③ 「新技術」を1つ以上導入していること(16種類の新技術*から選択)
- ④ 品目横断的経営安定対策に加入していること
- ⑤ 播種前契約の締結等(JAと出荷契約)、需要に応じた生産を実施していること

事例1

他者から新たに借地(期間借地を含む)、又は全作業受託した農地に
20年産麦を作付ける場合



事例2

自分の経営規模と換算できる農地(自作地や18年から既に通年借地等)で、
20年産麦の作付けにより、表作・裏作両方を作付けしている面積が拡大した場合

18年産の作付状況	冬作(18年産裏作)	小麦	(冬作なし)	(冬作なし)	(冬作なし)	対象
	夏作(18年産表作)	水稻	大豆	野菜	水稻	
		1ha	1.5ha	0.5ha	2ha	
20年産の作付状況	冬作(20年産裏作)	小麦	はだか麦	小麦	はだか麦	対象
	夏作(20年産表作)	水稻	大豆	野菜	水稻	

※ 新 技 術 一 覧

- ① 麦又は大豆の不耕起栽培
- ② 大豆の密播無中耕無培土栽培
- ③ 湛水直播栽培(落水出芽方式)
- ④ 乾田直播栽培
- ⑤ 麦、水稻の同時播種栽培
- ⑥ 水稻の冬期播種栽培
- ⑦ 露地野菜(レタス、ブロッコリー等)の機械移植栽培
- ⑧ 収穫機を用いたタマネギの収穫作業
- ⑨ 水稻、麦、大豆、露地野菜等の土壌診断に基づく土壌改良資材等の適正施用
- ⑩ 水稻の葉色診断に基づく穂肥の適正施用
- ⑪ 大豆の土中水分測定に基づく灌水による肥効調節
- ⑫ 麦、大豆等の畑作物について休閑緑肥作物を輪作体系に導入する技術(緑肥作物の播種から1年休作)
- ⑬ 麦又は大豆の耕起、畦立て、施肥、播種等のうち3作業以上を同時に施行する技術
- ⑭ 水稻、麦、大豆、露地野菜等における乗用型多目的作業機を用いた防除、施肥等の作業
- ⑮ 4条型以上のコンバインを用いた水稻、麦の収穫
- ⑯ 汎用型コンバインを用いた水稻、麦、大豆等の収穫

注1: 種子麦・黒大豆は助成対象品目ではありませんが、新技術の導入対象品目には含まれます。

注2: 新技術は、農業用機械などの導入(自己所有だけでなくリースなどでも可)だけでなく、実際に実施され作業日誌等に記録されている必要があります。

この事業に関する詳細な内容、その他の要件などについては、
((最寄りのJA、農業改良普及センター又は最終頁の「問合せ先」までお問合せ下さい))

ハーモニーなどが効かない スズメノテッポウが県内でも見つかっています

最近、ハーモニーやトレファノサイドが効きにくいスズメノテッポウが一部のほ場で見つかっています。

除草剤をハーモニーだけに頼るのではなく、播種耕起前の茎葉処理剤や播種直後の土壌処理剤の散布を組み合わせた体系防除を心がけて、抵抗性雑草の発生を防ぎましょう。

また、除草剤を適切に使ってもスズメノテッポウが多発した場合は、JAまたは農業改良普及センターなどの関係機関にお問い合わせください。



除草剤抵抗性スズメノテッポウの発生ほ場

発生原因

原因はまだはっきりしていませんが、発生が確認されたのは、いずれも毎年ハーモニーを使っていたほ場で、麦の除草をハーモニーに頼り過ぎるのは危険であるといえます。

ハーモニーに対する抵抗性が発達したスズメノテッポウは、トレファノサイドも効きが悪くなる場合があります。

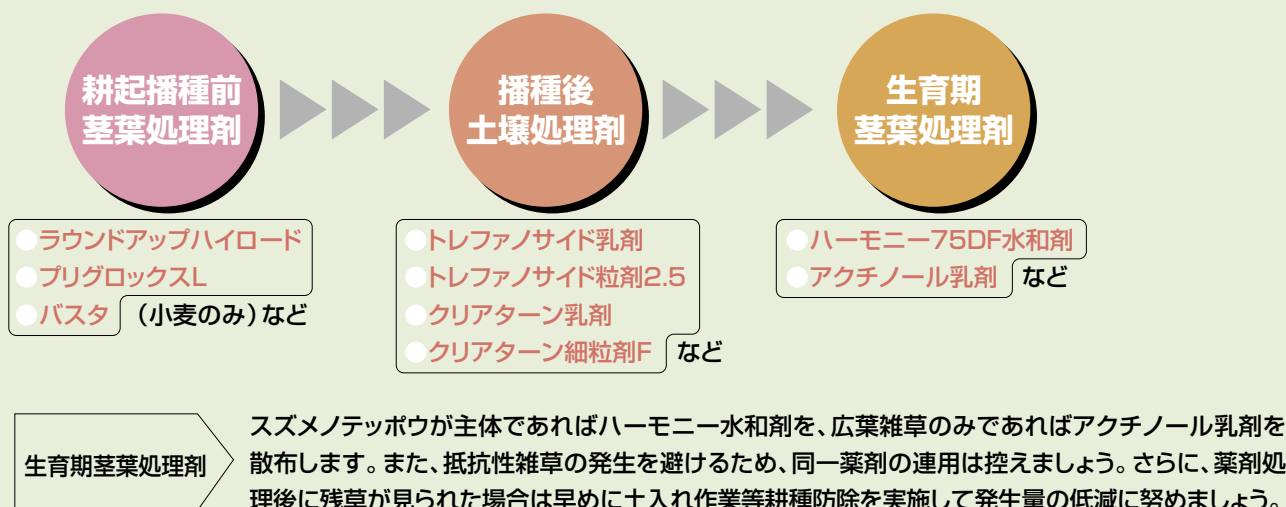
対策

抵抗性スズメノテッポウが発生した場合は、次のような防除を行う。

- ①古草は、播種前にラウンドアップなどの耕起播種前茎葉処理剤で枯らしておく。
- ②播種後土壌処理剤にはクリアターンを使う（はだか麦には薬害の恐れがあるので注意が必要）。
- ③広葉雑草が生えてきたらアクチノールを散布。スズメノテッポウの場合は早めに土入れ作業。

抵抗性雑草を発生させないために

次のような基本的な体系防除を行うことにより、抵抗性雑草の発生を抑えましょう。



内容に関するお問い合わせは、最寄りのJA、農業改良普及センター又は下記の問合せ先までお問い合わせ下さい。